

令和元年度第10回教育研究評議会議事録

日時 令和2年2月19日(水) 14:30～17:01 TV会議
場所 事務局5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 石井、木村、東郷、池田、手島、寺村、小谷、河合、笹原、白井、日詰、
田島、江口尚、熊倉、近藤、小西、田中、北村、川田、喜多、森田、鳥山、
江口昌、朴、澤田の各評議員
猪川教授(原委員の代理)
欠席者 丹沢、三村の各評議員
陪席者 鈴木、村松の各監事、青木、藤井、宮原の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

令和元年度第9回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 新法人設立・大学再編について

議長から、新法人設立・大学再編について、資料1-1により、合意書締結後の会議等の開催状況、資料1-2により、第15回静岡大学・浜松医科大学連携協議会(令和2年1月27日)、資料1-3により、第1回静岡大学将来構想協議会(令和2年1月29日)の報告があり、意見交換を行った。

<議長の説明>

- ・ 1月27日開催の連携協議会では、新法人と大学の運営の切り分けについて、各種専門委員会・WGから挙げられた内容について議論した。
- ・ 浜松市から無償貸与いただけるスペース(統合準備室)は、什器の搬入等の都合で利用開始までまだ時間をいただく必要がある。
- ・ 静岡大学将来構想協議会について、設置の趣旨、検討事項、11名の委員について紹介があった。1月29日開催の第1回の会議では、坂本委員と瀧委員以外の9名の委員が出席し、教育ジャーナリストの木村誠氏の講演後、本学の改革案の説明を行い、出席委員から意見が述べられた。委員からは、改革案に係るメリット・デメリットの共有を要望されており、第2回の会議(年度内開催に向け日程調整中)では、丹沢理事から未来社会デザイン機構や改革案に係るメリット・デメリットなどについて説明し、意見交換を行う予定である。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、静岡大学将来構想協議会の開催ペースが2ヶ月に1回では、スピード感が足りないのではないかと質問があり、議長から、静岡市は現在、来年度予算の審議中であるため、日程調整が困難であるため間隔が空いているが、2ヶ月に1回というペースが既定のものとなっている訳ではないとの発言があった。

2 国立大学法人静岡大学学則及び静岡大学大学院規則の一部改正について

議長から、国立大学法人静岡大学学則及び静岡大学大学院規則の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学における特別教育プログラムに関する規則の制定について

坂下部長から、静岡大学における特別教育プログラムに関する規則の制定について、資料3により提案があり、審議の結果、資料を一部修正の上、これを承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、就職活動等、特別教育プログラム修了見込み証明書があるとよいのではないかとの発言があり、坂下部長から、運用で対応できるように丹沢理事と相談したいとの発言があった。

4 静岡大学の研究・産学連携活動に伴う秘密情報の管理に関する規則及び細則の制定について

木村委員から、昨年12月の本会議で提示し、部局へ持ち帰り審議とした静岡大学の研究・産学連携活動に伴う秘密情報の管理に関する規則及び細則の制定について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

また、木村委員から、今後、マニュアル作成や説明会及び定期的な研修会の開催を検討したいとの発言があった。

<委員から出された意見等>

- ・ 近藤委員から、今後の質問や照会先について質問があり、木村委員から、イノベーション社会連携推進機構で対応するとの発言があった。

5 静岡大学全学教育科目規程の一部改正について

坂下部長から、静岡大学全学教育科目規程の一部改正について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 国立大学法人静岡大学教職員労働安全衛生管理規程の一部改正について

手島委員から、国立大学法人静岡大学教職員労働安全衛生管理規程の一部改正について、資料6により提案があり、審議の結果、資料を一部修正することを含め、これを承認した。

7 筑波大学、山梨大学、信州大学、林野庁関東森林管理局、林野庁中部森林管理局との連携協定の締結について

木村委員及び森田委員から、筑波大学、山梨大学、信州大学、林野庁関東森林管理局、林野庁中部森林管理局との連携協定の締結（更新）について、資料7（一部修正あり）により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 フェ大学（ベトナム）との大学間交流協定の更新について

白井委員から、フェ大学（ベトナム）との大学間交流協定の更新について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

9 ベトナム国家大学ハノイ・外国語大学との大学間交流協定の更新について

白井委員から、ベトナム国家大学ハノイ・外国語大学との大学間交流協定の更新について、資料9により提案があり、審議の結果、資料を一部修正の上、これ

を承認した。

1 0 教育学研究科教育実践高度化専攻（新教職大学院）の3つのポリシーの制定について

江口尚委員から、教育学研究科教育実践高度化専攻（新教職大学院）の3つのポリシーの制定について、資料1 0により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

1 1 令和2年度非常勤講師所要時間数について

坂下部長から、令和2年度非常勤講師所要時間数について、資料1 1により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

1 2 業績評価の見直し及び新年俸制の制度設計に関する対応方針について

東郷委員から、前回本会議で提示し、部局へ持ち帰り審議とした業績評価の見直し及び新年俸制の制度設計に関する対応方針について、資料1 2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

1 3 令和2年度の年度計画の策定について

東郷委員から、令和2年度の年度計画について、資料1 3により提示があり、意見交換を行った。

なお、議長から、本件は、部局に持ち帰り、2月末日までに検討いただき、次回の本会議で議論したいとの発言があった。

1 4 国立大学法人静岡大学経営協議会学外委員について

議長から、本年3月末での任期満了に伴う、次期国立大学法人静岡大学経営協議会学外委員候補者について、資料1 4により提示があり、意見を聴取したが、特段の意見はなかった。

1 5 学生の懲戒について

寺村委員から、学生の無期停学の解除について、別添資料により提案があり、審議の結果、これを承認した。

Ⅲ 報告事項

1 令和元年度第10回企画戦略会議（令和2年2月5日）報告

議長から、令和元年度第10回企画戦略会議(令和2年2月5日)について、資料1 5により報告があった。

2 役員・部局長等について

議長から、高等教育無償化に伴う外部理事の登用について、4月1日付けで1名の非常勤理事を任命する予定であるとの報告があり、同人の略歴の紹介があった。

また、現学長補佐3名と学長特別補佐1名の再任について報告があった。

3 教員の採用等報告について

議長から、教員の採用6件、昇任7件について、資料17により報告があった。

4 令和2年度入学試験出願状況について

坂下部長から、令和2年度入学試験出願状況について、資料18により報告があった。

5 各学部等における教職員を対象としたハラスメント防止講演会の実施について

小谷委員から、各学部等における教職員を対象としたハラスメント防止講演会の実施について、資料19により、参加状況の報告があり、協力への謝辞があった。なお、研究補佐員及び学術研究員の参加者が少なかったため、次年度開催時は周知徹底を図りたいとの発言があった。

IV その他

1 会議時間の適正化及び時間外勤務の縮減のお願いについて

笹原委員から、会議時間の適正化及び時間外勤務の縮減について、資料20により、協力要請があった。

【会議時間の設定についての留意事項】（平成30年3月開催の本会議において、副学長（ダイバシティ推進担当）より発信）

- ・ 事務職員の休憩時間である12時30分から13時30分を外してください。
- ・ 会議時間は、最長で2時間を目処に運営してください。
- ・ 会議は、17時を超えないよう運営してください。やむを得ず17時を超える場合は、事務職員及び育児や介護を担う教員に配慮し、陪席を求めないまたは帰宅を勧めるなどの対応をしてください。

2 令和2年度主要会議開催予定表について

議長から、令和2年度主要会議開催予定表（資料21）について、役員会の開始時刻を14時に変更する旨案内があった。

3 電子工学研究所、グリーン科学技術研究所、創造科学技術大学院及び超領域研究推進本部が共催する国際シンポジウムの開催について

猪川教授から、3月5日に開催する電子工学研究所、グリーン科学技術研究所、創造科学技術大学院及び超領域研究推進本部が共催する国際シンポジウムの開催について、資料22により案内があった。

4 新型コロナウイルス感染症に関する就業上の取扱いについて

議長から、新型コロナウイルス感染症に関する就業上の取扱いについて、資料23により説明があり、教職員への周知徹底について協力要請があり、意見交換を行った。

5 その他

議長から、2月17日に開催された国立大学協会東海・北陸地区支部会議の報

告があった。

以上